

様式第 1 号

令和 8 年 6 月 9 日

前橋市長

小 川 晶 殿

公立大学法人 前橋工科大学
理事長 西 菌 大 実

大学等における修学の支援に関する法律第 3 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	前橋工科大学
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(☒ 大学・短期大学・高等専門学校・専門学校)
大学等の所在地	群馬県前橋市上佐鳥町 460 番地 1
学長又は校長の氏名	中村 建介
設置者の名称	公立大学法人 前橋工科大学
設置者の主たる事務所の所在地	群馬県前橋市上佐鳥町 460 番地 1
設置者の代表者の氏名	西菌 大実
申請書を公表する予定のホームページアドレス	https://www.maebashi-it.ac.jp/

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☒) を付けて下さい。

☐ 確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。

☒ 更新確認申請書の提出

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☒) を付けて下さい。

☒ この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。

☒ 確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。

☒ 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

☒ この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- ☒ 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第3条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	総務課財務係・愛澤	027-265-7351	zaimu@maebashi-it.ac.jp
第2号の1	学務課教務係・中島	027-265-7361	kyoumu@maebashi-it.ac.jp
第2号の2	総務課総務企画係・掛川	027-265-7351	soumu@maebashi-it.ac.jp
第2号の3	学務課教務係・中島	027-265-7361	kyoumu@maebashi-it.ac.jp
第2号の4	総務課財務係・愛澤	027-265-7351	zaimu@maebashi-it.ac.jp

○添付書類

- ※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点（☒）を付けた上で、これらの書類を添付してください。（設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。）

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- ☒ 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- ☒ 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- ☐ 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- ☒ 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料

その他

- ☐ 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- ☒ 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	前橋工科大学
設置者名	公立大学法人前橋工科大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
工学部	建築・都市・環境工学群	夜・通信		10	78	88	13	
	情報・生命工学群	夜・通信		10	76	86	13	
	社会環境工学科	夜・通信			2	2	13	
	建築学科	夜・通信			10	10	13	
	生命情報学科	夜・通信			0	0	13	
	システム生体工学科	夜・通信			0	0	13	
	総合デザイン工学科	夜・通信			20	20	13	
(備考) ○建築・都市・環境工学群及び情報・生命工学群は申請年度に開講されている科目のみで計上 ○その他の6学科は改組により学生募集を停止しており、完成年度を越えたため、申請年度に開講されている科目のみ計上								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学 HP (https://www.maebashi-it.ac.jp/kouhyou/) 授業に関する事/実務経験のある教員等による授業科目の一覧表
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	前橋工科大学
設置者名	公立大学法人前橋工科大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学HP https://www.maebashi-it.ac.jp/incorporation/organization/yakuin.html （1頁）
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	R7.4.1～ R9.3.31	1) 民間のノウハウ の活用による経営力 の強化 2) 多様な視点から の提言
非常勤	株式会社役員	R7.4.1～ R9.3.31	1) 民間のノウハウ の活用による経営力 の強化 2) 多様な視点から の提言
(備考) その他3名の学外者である理事を選任している。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	前橋工科大学
設置者名	公立大学法人前橋工科大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・シラバスについては、授業の方法及び内容、教育目標及び成績評価の方法等について、学内統一フォーマットを作成し、必須記載項目を定めている。 ・各教員が作成したシラバスについては、教務委員によりチェックを行い、記載漏れ項目などが修正されたうえで、3月下旬には本学ホームページで公開している。	
授業計画書の公表方法	https://www.maebashi-it.ac.jp/kouhyou/ 授業に関すること/授業科目 (シラバス)
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・シラバスに記載された評価方法に基づき評価を行っている。 ・成績評価に関する異議申し立て制度を実施し、厳正かつ適正な成績評価に努めている (全学共通実施)。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)
 ・成績評価の客観的指標とするため下記によるGPA制度を導入し、各学生の履修科目の成績に基づいて下記の算出方法でGPAを算出している(全学共通)。

評価	評価の基準	GP	内容
S	90 点以上 100 点まで	4	学修の成果が到達目標を十分に達成できている非常に優れた成績
A	80 点以上 90 点未満	3	学修の成果が到達目標を十分に達成できている優れた成績
B	70 点以上 80 点未満	2	学修の成果が到達目標を十分に達成できている成績
C	60 点以上 70 点未満	1	学修の成果が到達目標を最低限達成できている成績
D	60 点未満 (不合格)	0	学修の成果が到達目標を達成できていない成績

$$GPA = \frac{S \text{ の単位数合計} \times 4 + A \text{ の単位数合計} \times 3 + B \text{ の単位数合計} \times 2 + C \text{ の単位数合計} \times 1}{\text{履修登録した科目の総単位数}}$$

※D(不可)評価の授業科目は、過去の評価も上式の分母に含まれる。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	大学HP https://www.maebashi-it.ac.jp/kouhyou/hyouka_gakubu.html
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

・以下の全学的な卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を定めている。また、卒業認定に際しては、各学群・学科が定める必要単位数を修めるほか、卒業研究を必修とすることで、ディプロマ・ポリシーに定める資質・能力の総合評価を行っている。

- ・本学がめざす自然と人との共生、持続可能な循環型社会の構築に寄与するための幅広い基礎的な学力、工学の知識と技能を修得し、判断力と実行力を有している。
- ・自ら課題を見いだすことができ、解決に主体的に取り組み、その成果を発表する能力を備えている。
- ・他者との協働に参画し得る社会性を有し、専門技術者として果たすべき使命と役割を理解し、倫理観や責任感を身に付けている。

さらに令和4年度入学生から、ディプロマ・ポリシー達成のため、ディプロマ・ポリシーを対応する13の能力要素に区分し、卒業時にはそれぞれの能力要素が身に付けられるよう、カリキュラムを編成している。各授業科目が担う教育目標については、シラバスにも記載されている。

区分	大学ディプロマ・ポリシー	ポリシーに含まれる能力要素
1-1	自然と人との共生、持続可能な循環型社会の構築に寄与するための幅広い基礎的な学力、工学の知識と技能を修得している。	創造力 … 新たなもの、価値を生み出す力
1-2	知識と技能に基づき、判断し、実行することができる。	実行力 … 目的を設定し、計画を踏まえて実行に移す力 自己活性力 … 困難な局面に立ち向かい、乗り越える力
2-1	自ら課題を見いだすことができる。	課題発見力 … 現状を分析し目的や課題を明らかにする力 感受力(観察力) … 状況を先入観なく、ありのままに観察し、柔軟に受けとめる力
2-2	課題の解決に主体的に取り組むことができる。	主体性 … 自主的に物事に取り組む姿勢 計画力 … 目標を達成するための道筋を描く力
2-3	成果を発表する能力を備えている。	発信力 … 自分の考えをわかりやすく伝える力
3-1	他者との協働に参画し得る社会性を有している。	働きかけ力 … 他者に働きかけ巻き込む力 傾聴力 … 実行された事柄を観察しつつ、他者の意見に対して謙虚に耳を傾ける力 支援力 … 他者を思いやり、力を貸し、助ける力
3-2	専門技術者として果たすべき使命と役割を理解している。	責任力 … 自分に課せられた使命を理解し、全うする力
3-3	倫理観や責任感を身に付けている。	倫理性 … 社会のルールや人との約束を守る姿勢

卒業の認定に関する
方針の公表方法

大学HP

https://www.maebashi-it.ac.jp/kouhyou/policy_gakubu.html

【令和3年度入学生まで】

https://www.maebashi-it.ac.jp/kouhyou/policy_gakubu_r4.html

【令和4年度入学生から】

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	前橋工科大学
設置者名	公立大学法人前橋工科大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.maebashi-it.ac.jp/incorporation/finance/zaimu.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.maebashi-it.ac.jp/incorporation/finance/zaimu.html
財産目録	-
事業報告書	https://www.maebashi-it.ac.jp/incorporation/finance/zaimu.html
監事による監査報告(書)	https://www.maebashi-it.ac.jp/incorporation/finance/zaimu.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 対象年度:)
公表方法:
中長期計画(名称: 第三期中期計画 対象年度: 令和7年度から令和12年度まで)
公表方法: 大学HP https://www.maebashi-it.ac.jp/incorporation/operation/operation.html

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大学HP https://www.maebashi-it.ac.jp/about/hyoka.html
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 大学HP https://www.maebashi-it.ac.jp/about/hyoka.html
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 工学部
教育研究上の目的（公表方法：公表方法：大学案内冊子（大学事務局等にて配布及び大学 HP で閲覧可） https://www.d-pam.com/maebashi-it/2616378/index.html?tm=1#target/page_no=1 大学 HP https://www.maebashi-it.ac.jp/kouhyou/rinen.html) （概要） 工学が市民生活と密接に関連した学問分野であることを踏まえた教育・研究を推進し、社会の安全・安心とエネルギー・環境をはじめとする 21 世紀の人類が直面する様々な課題の解決に取り組み、その成果を地域と社会に還元し、社会の発展と福祉に貢献することを目的とする
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：大学HP） https://www.maebashi-it.ac.jp/kouhyou/policy_gakubu.html 【令和 3 年度入学生まで】 https://www.maebashi-it.ac.jp/kouhyou/policy_gakubu_r4.html 【令和 4 年度入学生から】 （概要） 【令和 3 年度入学生まで】 ・ 本学がめざす自然と人との共生、持続可能な循環型社会の構築に寄与するための幅広い基礎的な学力、工学の知識と技能を修得し、判断力と実行力を有している ・ みずから課題をみいだすことができ、解決に主体的に取り組み、その成果を発表する能力を備えている ・ 社会との協働に参画し、専門技術者として果たすべき使命と役割を理解し、倫理観や責任感を身につけている 【令和 4 年度入学生から】 ・ 本学がめざす自然と人との共生、持続可能な循環型社会の構築に寄与するための幅広い基礎的な学力、工学の知識と技能を修得し、判断力と実行力を有している ・ 自ら課題を見いだすことができ、解決に主体的に取り組み、その成果を発表する能力を備えている ・ 他者との協働に参画し得る社会性を有し、専門技術者として果たすべき使命と役割を理解し、倫理観や責任感を身に付けている
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学HP） https://www.maebashi-it.ac.jp/kouhyou/policy_gakubu.html 【令和 3 年度入学生まで】 https://www.maebashi-it.ac.jp/kouhyou/policy_gakubu_r4.html 【令和 4 年度入学生から】 （概要） 【令和 3 年度入学生まで】 ・ 卒業認定・学位授与の方針を達成するために必要な、共通教育科目（総合デザイン工学科においては基礎教育科目）、専門教育科目、専門科目（総合デザイン工学科においては専門教育科目）を学修させる。 ・ 工学教育を特徴づける実験・実習・演習をとおして、課題の解決に必要な知識と方法を修得させ、その結果を論理的に発表する力を身につけさせる。 ・ 本学での学修に加え、インターンシップなどの学外活動をとおした実社会との交流も促

進し、表現力、協調性、倫理性を涵養させる。

【令和4年度入学生から】

- ・卒業認定・学位授与の方針を達成するために必要な、教養基礎科目、専門教育科目を学修させる。
- ・工学教育を特徴づける実験・実習・演習をととして、課題の解決に必要な知識と方法を修得させ、その結果を論理的に発表する力を身につけさせる。
- ・本学での学修に加え、インターンシップなどの学外活動をととした実社会との交流も促進し、表現力、協調性、倫理性を涵養する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：

募集要項：<https://www.maebashi-it.ac.jp/examinee/admission/boshuyoko.html>

大学HP：https://www.maebashi-it.ac.jp/kouhyou/policy_gakubu.html）

（概要）

- ・教育課程編成・実施の方針を修得するために必要な、高校課程の基礎的な学力を修めている人
- ・工学に関心を持ち、みずから考え、判断する力を育くみ、何事にも積極的に挑戦しようと考えている人
- ・発想力、洞察力、コミュニケーション力を修めるため、持続力をもって学ぼうとする人
- ・対話によって気づきを共有することが、学びを深めるために大切だと認識する人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学HP https://www.maebashi-it.ac.jp/about/post_8.html

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	3 人	－					3 人
	－	29 人	30 人	5 人	5 人	人	69 人
	－	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		人					人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：大学HP https://www.acoffice.jp/mithp/KgApp					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
工学部	264 人	286 人	108%	1,068 人	1,218 人	114%	6 人	3 人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	人	人	%	人	人	%	人	人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
工学部	256 人 (100%)	82 人 (32.0%)	169 人 (66.0%)	5 人 (2.0%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	256 人 (100%)	82 人 (32.0%)	169 人 (66.0%)	5 人 (2.0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
主な進学先：前橋工科大学大学院、主な就職先：株式会社ミツバ、埼玉建興株式会社				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
・シラバスを作成し、授業内容、授業の教育目標を学生に示している。
・授業については、1 年を前期と後期に分け、それぞれ試験実施日を除き 1 5 回の授業実施期間を確保している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
評価	評価の基準	GP	内容	
S	90 点以上 100 点まで	4	学修の成果が到達目標を十分に達成できている非常に優れた成績	
A	80 点以上 90 点未満	3	学修の成果が到達目標を十分に達成できている優れた成績	
B	70 点以上 80 点未満	2	学修の成果が到達目標を十分に達成できている成績	
C	60 点以上 70 点未満	1	学修の成果が到達目標を最低限達成できている成績	
D	60 点未満 (不合格)	0	学修の成果が到達目標を達成できていない成績	
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
工学部	建築・都市・ 環境工学群	130 単位	有・無	単位
	情報・生命工 学群	130 単位	有・無	単位
	社会環境工学 科	124 単位	有・無	単位
	建築学科	130 単位	有・無	単位
	生命情報学科	124 単位	有・無	単位
	システム生体 工学科	124 単位	有・無	単位
	総合デザイン 工学科	124 単位	有・無	単位
G P A の活用状況（任意記載事項）		公表方法：		

学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法：
----------------------------	-------

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：

①大学HP 施設案内－前橋工科大学

(<https://www.maebashi-it.ac.jp/about/shisetsu.html>)

② 刊行物（大学案内冊子）

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
工学部	建築・都市・環境工学群	535,800 円	282,000 円 (141,000 円)	0 円	※前橋市内居住者（入学者又は配偶者もしくは1親等の親族が、入学年の4月1日において、引き続き1年以上前橋市に住所を有している者）に係る入学金は、141,000 円となる。
	情報・生命工学群	535,800 円	282,000 円 (141,000 円)	0 円	
	社会環境工学科	535,800 円	282,000 円 (141,000 円)	0 円	
	建築学科	535,800 円	282,000 円 (141,000 円)	0 円	
	生命情報学科	535,800 円	282,000 円 (141,000 円)	0 円	
	システム生体工学科	535,800 円	282,000 円 (141,000 円)	0 円	
	総合デザイン工学科	401,800 円	282,000 円 (141,000 円)	0 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） ・「公立大学法人前橋工科大学障害を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領」に基づき、すべての学生、入学を希望する者に対して障害を理由とする差別を行わず、障害の有無に関わらず平等に修学できるよう可能な限りの支援（合理的配慮）を行っている。 ・心身の不調や人間関係のストレスなどから履修が困難な状況となっている学生を修学状況調査等における担当教員と学生との面談から早期に把握し、専門職による各種相談に繋げ、総合的な支援を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） キャリアセンターにおいて、月2回程度キャリアセミナーを実施するなど、キャリア形成支援及び就職活動支援を行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） ・保健室では、ケガや体調不良時の対応のほか、保健師・看護師を中心に、医師、臨床心理士、キャンパスソーシャルワーカーと連携した保健相談や、関係教員とのケース会議等を実施している。 ・令和8年度よりキャンパスソーシャルワーカーを常勤配置し、総合相談窓口として相談体制の再構築を目指している。 ・令和8年度より新生（学部・大学院）の健康調査を行い、事前に学生の心身の健康状態を把握、必要な支援が適時受けられる体制を整え、心理相談等の利用勧奨をはじめ早期コンタクトを取っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：

【教育活動】

○大学H P

教育情報の公表

<https://www.maebashi-it.ac.jp/kouhyou/>

【研究活動】

○大学H P

研究活動について

https://www.maebashi-it.ac.jp/regional/about/kenkyu_index.html#gsc.tab=0

教員情報

<https://www.acoffice.jp/mithp/KgApp>

研究産学連携推進本部

<https://www.maebashi-it.ac.jp/regional/#gsc.tab=0>

○外部H P（科学技術振興機構－研究者をさがす）

<https://researchmap.jp/researchers>

○刊行物

- ・大学案内冊子（大学事務局、市内高校、市内駅、各種説明会にて配布）
- ・大学概要（大学事務局にて配布）
- ・研究紀要（大学事務局にて配布、県内図書館及び大学施設等に配布）
- ・研究室ガイドブック（大学院進学予定者及び共同研究検討企業に配布）

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A 4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F110210101739
学校名（〇〇大学 等）	前橋工科大学
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	公立大学法人前橋工科大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		264人（ 178 ）人	272人（ 180 ）人	283人（ 187 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	52人	53人	
	（うち多子世帯）	（ - 人）	（ 11 人）	
	第Ⅱ区分	36人	40人	
	（うち多子世帯）	（ - 人）	（ - 人）	
	第Ⅲ区分	23人	25人	
	（うち多子世帯）	（ - 人）	（ - 人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	35人	29人	
	区分外（多子世帯）	118人	125人	
家計急変による 支援対象者（年間）				- 人（ 0 ）人
合計（年間）				286人（ 187 ）人
(備考) 多子世帯年間人数は通年171人+半期のみ16人＝187人で記載。 2. (2)で遡って認定の効力を失った者に該当した者については内訳に含めていない。				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	- 人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当	- 人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	- 人	人	人
計	11人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	- 人	前半期	人	後半期	人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	- 人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	- 人	人	人
GPA等が下位4分の1	42人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	43人	人	人
計	79人	人	人
(備考) 収入判定で停止中の学生も含む。			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。